



# 選択と集中で 未来の子どもたちのために

～住みよいまち、住みたくなるまちを目指して～

世界的な景気後退局面から自動車関連を始めとする企業等の業績悪化が急速に進み、雇用不安も大変深刻な状況となっております。本町においても、町財政への依存度が高い法人町民税の激減もあり、さらに慎重な対応をする必要があると考えています。

このような厳しい社会経済情勢の中、平成21年度予算は、第5次総合計画を指針に、事務事業の「**選択と集中**」、ならびに徹底した行財政改革を行い、景気変動等にも対応できる持続可能で健全な財政運営に努めてまいります。そして「住みよいまち、住みたくなるまち」の実現を目指し、安全対策・子育て支援・障害者支援などの拡大や給食センターの移転改築を始め教育環境の整備など**防災・福祉・教育・環境**の基本的重点施策は維持に努め、新駅の設定・幸田駅前再開発の推進については幸田町の将来にかかる重要な社会基盤であるため、厳しい中でも幸田町の将来に希望が持てる積極的な予算を編成いたしました。



幸田町長  
近藤 徳光

## 平成21年度 当初予算

### ● 一般会計

予算総額

122億8,000万円

一般会計は、町が行う仕事の大部分をまかなう予算で、町税や国・県からの支出金などを財源にしているもので、町民の皆さんに最も関わりの深い予算といえます。

### ● 特別会計

予算総額(8特別会計)

65億2,181万円

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、**土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計**があります。

### ● 企業会計

収益的支出

6億8,710万円

資本的支出

5億2,402万円

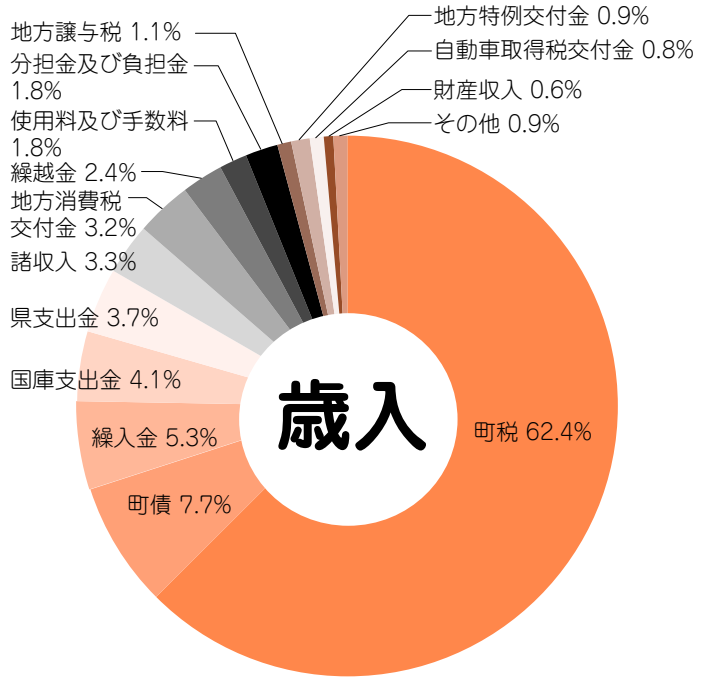
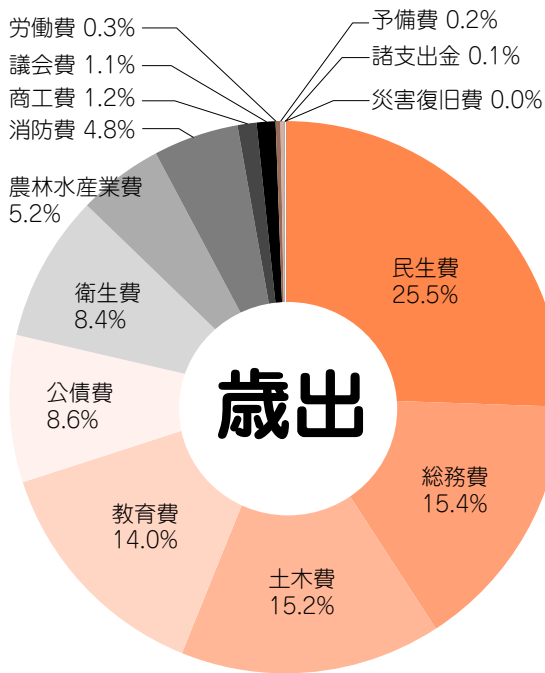
企業会計は、税金を使わず、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計がこれにあたります。

(▲減)

会計区分		平成21年度予算	平成20年度予算	伸び率(%)
一般会計		122億8,000万円	133億5,800万円	▲8.1
特別会計	土地取得特別会計	4億5,606万円	4億9,011万円	▲6.9
	国民健康保険特別会計	29億1,242万円	26億1,500万円	11.4
	老人保健特別会計	2,077万円	2億6,650万円	▲92.2
	後期高齢者医療特別会計	2億4,032万円	2億4,723万円	▲2.8
	介護保険特別会計	12億3,432万円	11億4,758万円	7.6
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	2億7,655万円	2億7,381万円	1.0
	農業集落排水事業特別会計	4億5,693万円	3億7,258万円	22.6
	下水道事業特別会計	9億2,444万円	10億549万円	▲8.1
水道事業会計	収益的支出	6億8,710万円	6億8,894万円	▲0.3
	資本的支出	5億2,402万円	4億8,402万円	8.3
合計		200億1,293万円	209億4,926万円	▲4.5

## 平成21年度幸田町一般会計

歳入歳出予算総額 122億8,000万円



### 歳出

歳出を費目別に見ると、民生費が全体の25.5%を占め、次いで総務費15.4%、土木費15.2%となっています。その中で、総務費が法人町民税の還付金、新駅関連事業等により、伸び率39.1%と大幅に伸びましたが、徹底した事務事業の見直し等の歳出削減により総額では、前年度に対して8.1%の減少となりました。

### 歳入

最も大きな割合を占めている町税が、自動車関連を始めとする企業の業績悪化により、前年度に比べ13億5千万円の大幅な減（町税の内法人町民税18億円の減）となり、全体の62.4%で、構成比では5.1%減となっています。また、本年度は新駅関連事業等に対し基金の取崩しを行うため、繰入金が全体の5.3%（前年2.5%）を占め、大幅に伸びています。

### 主な区分の内容

【歳入】1年間のすべての収入

【町税】町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など歳入の貴重な財源。

【国庫（県）支出金】特定の事業の財源の一部として、国（県）から支出されるお金。

【地方譲与税】国税として徴収し、地方に譲与する地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税等。

【町債】大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金。

【歳出】1年間のすべての支出

【民生費】お年寄りや子ども、障害者など福祉や医療などに使われるお金。

【教育費】小・中学校、ハッピーネス・ヒル・幸田の運営や生涯学習講座などに使われるお金。

【総務費】町職員の給与や町の財産の管理などに使われるお金。

【公債費】町債を返済するお金。

# 主要な施策

## ①安全で快適な都市の 基盤・生活の環境づくり

市民が安全で安心して暮らすことができるよう、安全性、利便性、快適性の高い都市環境の整備に努めます。

### ●安全・安心対策

- ・小中学校緊急地震速報受信放送設備設置
- ・防災遠視カメラによる監視
- ・民間木造住宅耐震診断、耐震改修支援
- ・防災備蓄倉庫設置
- ・自主防災組織育成

### ●消防・救急

- ・救助工作車更新
- ・防火水槽設置

### ●交通・防犯

- ・地域安全ステーション運営
- ・自主防犯活動支援
- ・防犯灯設置
- ・通学路簡易歩道整備

### ●道路・橋梁整備

- ・野場横落線、永野菱池1号線他道路整備
- ・生活道路の舗装、側溝整備
- ・防災ダム大井池地区整備
- ・不動ヶ池地域用水環境整備
- ・橋梁点検調査
- ・都市計画マスタープラン策定

### ●基盤整備

- ・新駅および自由通路設置



▲平成24年3月開業予定の新駅

## ②環境と調和する まちづくり

緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進するため、身近なふれあいのできる場の整備を図るとともに、資源循環型社会の形成に取り組み、快適で美しい環境を創造します。

### ●環境対策

- ・住宅用太陽光発電システム設置支援
- ・レジ袋の削減・マイバック運動推進
- ・循環型社会の構築
- ・生ごみ堆肥化等支援
- 都市公園整備
- ・公園遊具・施設整備補修
- ・緑の基本計画策定

## ③多様な産業が育つ まちづくり

培われた地域産業を生かし、まち全体の調和の中で創造性の高い産業振興に努めます。

### ●農村・農林業振興

- ・道の駅「筆柿の里・幸田」開業



▲4月4日オープン道の駅「筆柿の里・幸田」

## 町民一人当たりの予算の使い道（一般会計）

# 32万8,958円

（前年度金額 36万1,955円）

\* 予算額を平成21年3月1日現在の幸田町の人口3万7,330人で割って算出しました（1円未満四捨五入）

1	民生費	8万3,774円	（0.3%増↗）
2	総務費	5万 650円	（37.6%増↗）
3	土木費	5万 62円	（16.7%減↘）
4	教育費	4万5,957円	（39.3%減↘）
5	公債費	2万8,296円	（1.0%減↘）
6	衛生費	2万7,708円	（3.4%増↗）
7	農林水産業費	1万6,967円	（25.4%減↘）
8	消防費	1万5,917円	（1.3%増↗）
9	商工費	3,800円	（0.5%減↘）
10	議会費	3,555円	（2.5%減↘）
11	労働費	1,003円	（10.0%増↗）
12	その他	1,269円	（64.9%減↘）
	合計	32万8,958円	（9.1%減↘）





▲すこっぴーのエプロンが目印の赤ちゃん訪問員

- ・ 里山保全整備
- ・ 集落環境整備
- ・ 農地・水・環境保全向上対策（花いっぱい運動）
- ・ 産業まつり
- **商工・観光・勤労者対策**
- ・ がんばる商店街推進
- ・ 優良企業の誘致推進
- ・ 商工業経営安定対策の推進
- ・ 勤労者住宅資金金利子補給
- ・ 彦左まつり

#### ④ 健康・福祉のまちづくり

- ・ 町民一人一人が、心身ともに健康で生きがいをもって暮らしていける地域社会を形成していきます。
- **健康づくり**
- ・ 妊婦健診無料化拡大（7回→14回）
- ・ こんにちは赤ちゃん訪問の実施

- ・ 一般不妊治療費助成
- ・ みんなで育む健康ことうた21計画の推進
- ・ 各種健診、予防接種の実施
- **高齢者、障害者福祉・介護保険**
- ・ （仮称）障害者地域活動支援センター建設
- ・ 障害者自立支援の推進
- ・ 介護予防対策の推進
- ・ 日常生活用具、補装具給付
- **児童福祉・保育園整備**
- ・ 子ども医療費無料化継続（中3まで）
- ・ （仮称）子ども権利条例策定
- ・ 放課後子ども教室増設（幸田小）
- ・ 次世代育成支援後期行動計画の策定

#### ⑤ 地域文化・人づくり

- ・ ライフステージに応じた教育・文化・学習活動の場づくり、環境づくりなど生涯学習の推進に努めるとともに、将来を担う子どもたちの健全育成を推進します。また、地域コミュニティ意識の醸成を図り、豊かな地域社会づくりを形成していきます。
- **社会教育**
- ・ 子ども読書活動推進計画策定
- ・ 男女共同参画プランの推進
- ・ 生涯学習講座開催
- ・ 青少年健全育成
- **スポーツ振興**
- ・ スポーツ教室開催
- ・ 町民スポーツ大会開催
- ・ 地区スポーツ大会支援



▲2学期から配食開始の給食センター

- ・ 町民大運動会開催
- **学校教育**
- ・ 新給食センター配食開始
- ・ 荻谷小学校拡張用地取得
- ・ 中央小体育館実施設計
- ・ 少人数、通級指導対応教育の推進
- ・ 日本語指導嘱託教員、母国語対応指授員配置
- ・ 奨学金制度
- ・ 地域に根ざした学校づくり
- ・ 教育相談活動の充実
- **国際化推進**
- ・ 国際交流事業補助
- ・ 外国人英語講師配置
- **コミュニケーション**
- ・ 地区集会施設維持管理
- ・ コミュニティ活動支援

#### ⑥ 健全な行財政による 確かなまちづくり

住民が積極的に行政に参加できる開かれたまちの実現を目指します。また、長期的な視点にたった健全な行財政運営の確立と機能強化を図ります。

- **情報公開推進**
- ・ 広報紙発行
- ・ 町政モニター
- ・ ケーブルテレビ番組作成
- **指定管理者制度**
- ・ ハッピーネス・ヒル・幸田
- ・ 高齢者生きがいセンターおよび高齢者ふれあいプラザ
- ・ 道の駅
- **行財政運営**
- ・ 行政改革大綱に基づく事務改善の推進
- ・ 行政評価による事務事業の効率化
- ・ 公債費の抑制

本町の行財政運営は、税収の激減により大変厳しい状況下にあります。が、徹底した事務事業の見直し等の行財政改革を行い、まちの未来を見据えた施策を推進していきます。

諸施策の実施にあたりましては、町民の皆さまとの対話の中からいただいた貴重なご意見を可能な限り取り入れ、住民の目線に立ち、スリムで効率的な行政運営を目指していきます。

**問合せ** 財政課財政G（内線3332）